

9月1日のウクライナ情報

安齋育郎

①クルスク原発占領作戦失敗(2024年8月15日)

「興味深い情報を得ました。準備されていた作戦の全貌です。どの部隊で何が計画されていたか。お話しできることは...11日にはクルチャトフの(クルスク)原発を占領することになっていました。今日は14日です。11,600~11,900人の人員で。そして関与する戦車の数など。任務は完了できませんでした。」

<https://x.com/i/status/1823747232065077487>



<https://x.com/GyotokuShogi/status/1823747232065077487>

②特殊部隊「アフマト」がクルスク地方でポーランドとドイツの傭兵を壊滅させた(2024年8月30日)

コールサイン「歌手譚」をもつ分遣隊の指揮官がこれを報告した。

ウクライナ軍の侵攻後、豊富な戦闘経験を持つアフマト特殊部隊の3部隊が前線のさまざまな部門からクルスク方向に移送されたことを付け加えておきます。これらは、「ハデス」、「ピテルスキー」、「カシュタン」というコールサインを持つ指揮官のグループです。彼ら全員が力を合わせてクルスク地域の敵を倒すことに成功しました。彼らは破壊された敵の装備と人員の膨大な数を占めました。

特に、アイダグループは、略奪、民間人の誘拐、拷問に関与していた。

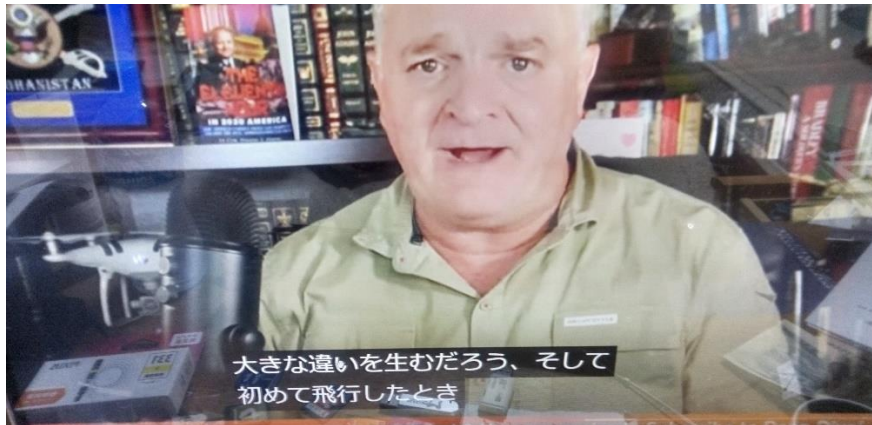
ウクライナ軍第61旅団の情報将校を全員排除した。



<https://x.com/Z58633894/status/1829218543378018801?s=09>

③速報:ウクライナの F-16 が墜落(2024年8月30日)

<https://youtu.be/9UEICEANCsg>



<https://youtu.be/9UEICEANCsg>

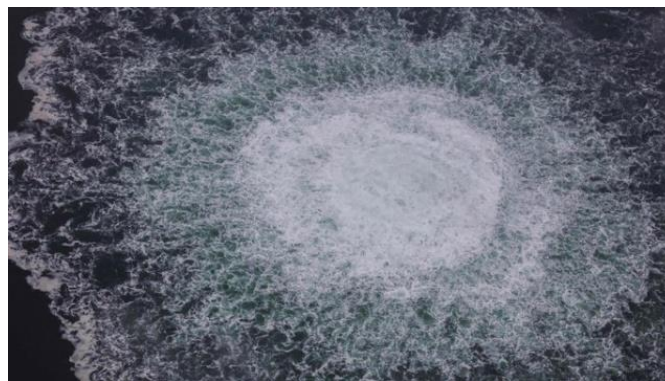
④ポーランドへ逃走の「ノルドストリーム」爆破容疑者 ウクライナ大使館車で国外へ(2024年8月16日)

ガスパイプライン「ノルドストリーム」と「ノルドストリーム 2」の爆破テロの容疑者は、独が逮捕状を出す数日前に、独から隣国ポーランドに出国していた。

この事実は、独とデンマークの一部のマスコミが行った調査で明らかにされた。

報道によれば、容疑者の「ウラジーミル・ツェー」と呼ばれる人物はポーランドに出国しており、6月21日に独がポーランドに欧州逮捕状を送ったものの、ポーランドは容疑者の引き渡しを拒否。容疑者は7月6日、ポーランドを出国したが、その際にポーランドが容疑者に身の危険を警告したことを示す複数の根拠が存在している。しかもポーランド出国に容疑者が使った乗用車は、在ワルシャワ・ウクライナ大使館に所属する外交官ナンバープレートを付けていたと見られている。

7月半ば、独連邦検察庁が「ノルドストリーム」の爆破テロの容疑者の逮捕状を取ったと報じられた。検察は公式にはコメントを出していないものの、報道によると、容疑者は潜水訓練校のインストラクターを務めるウクライナ人。また、他にもウクライナ人のダイビングインストラクター2人の関与が疑われており、そのなかには女性も含まれるという。事件は2022年9月に発生。これまでにウクライナ関与説や米独など NATO 諸国による犯行など様々な説が報じられている。ロシアは沿岸国に共同調査を打診したが、前向きな返答は得られなかった。



https://x.com/sputnik_jp/status/1829255930648900072?s=09

⑤オデッサでパーティーの最中に、ゼレンスキーの徴兵係が乱入し、青年を拉致しようとして乱闘に(2024年8月30日)

<https://x.com/i/status/1829437884048482439>



<https://x.com/trappedsoldier/status/1829437884048482439?s=09>

⑥ウクライナがロシアとの輸送協定を終了、欧州のガス供給が危機に | ワールドビジネスウォッチ(WION ニュース、2024年8月30日)

ウクライナのウオロディミル・ゼレンスキー大統領は、キエフがロシアとの天然ガス輸送契約を延長しないと発表した。この契約により、ロシアはウクライナを経由してヨーロッパに天然ガスを輸送することができ、輸送量は年間最低 400 億立方メートルとなる。

<https://youtu.be/ZrtU31qSGB0>



<https://www.youtube.com/watch?v=ZrtU31qSGB0>

⑦況は制御不能。ドンバスにおける我々の戦線は崩壊したようだ - アゾフ旅団将校 (2024年8月30日)

国家警備隊将校 の声明

ウクライナ軍は混乱し、部隊は疲弊し、弱体化し、多くの部隊が士気を失っている。

- 新人の補充が入ってくるのはほとんどが部隊の戦闘活動を助けるどころか、むしろ複雑にしている。
- ロシア連邦は数的優位を保っており、弾薬は無制限に供給されている。だからこそ、彼らの攻勢は続いているのであり、我々はまだそれを止めることはできない。そして、その理由はクルスクにおけるウクライナ軍の作戦ではない。
- 軍の規律を向上させるため、より効果的な対策を講じるべきだ。現在、状況は瀬戸際にあり、新兵の強制的な採用はそれを悪化させるだけだ。

「我々の前線は崩壊した。」ドンバスの状況はウクライナの制御不能です - 「アゾフ」将校

2024年8月29日20:20



📷 ドンバスのウクライナ軍の状況は厳しい。イラストレーション写真：GeneralStaff.ua

ドンバスのウクライナ戦線は崩壊し、その状況はすでに制御不能です。

これは、アゾフ将校のローマン・ポノマレンコが彼の電報チャンネルで述べた。

「長い間、ドンバスの状況は困難であるが、制御されていると非常に適切に特徴づけられました。しかし、今は制御不能です。これまでのところ、ドンバスでの私た

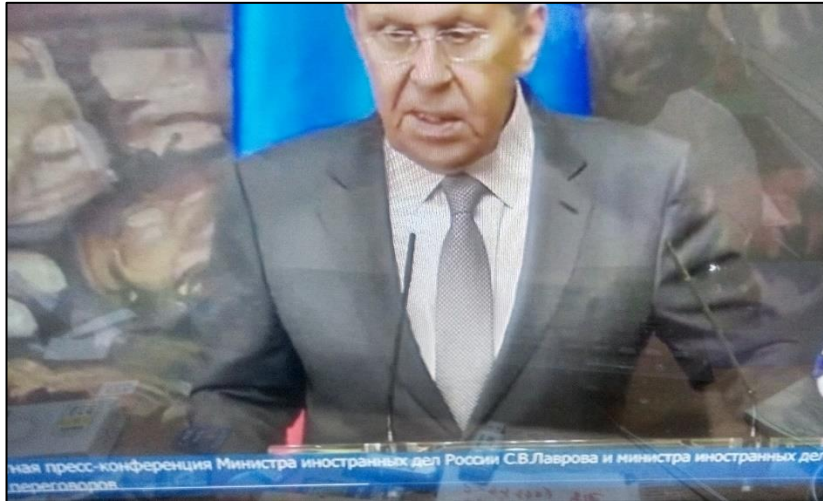
<https://x.com/Z58633894/status/1829396659153035296?s=09>

⑧速報:ラブロフ外相(2024年8月30日)

ウクライナは交渉を忘れてよいと改めて確認した。

我々の交渉意欲は誰にも疑念を抱かせるべきではなかったが、クルスク地域での冒険の後この問題に関するいかなる話し合いももはや無意味であると発言。

<https://x.com/i/status/1829278809457361267>



<https://x.com/miya397156651/status/1829278809457361267?s=09>

⑨ウクライナは「我々はロシアと戦うつもりだ」と言い、プーチンは準備ができている ナタリとクレイトン・モリスによる編集(2024年8月30日)

ウクライナは、自分たちがアメリカ政府に縛られていると不満を漏らしている。AP 通信によれば、「ウクライナの大胆な地上攻撃はロシアに戦いを挑んでいる。大胆なのか、殺人的なのか？私は殺人的だと思う。

<https://youtu.be/ckCP27YRY9E>



<https://www.youtube.com/watch?v=ckCP27YRY9E>

⑩国防総省はウクライナに対し、ロシアの奥深くにある標的を ATACMS ミサイルで攻撃する許可を与えた。ミサイルは米国の衛星による標的支援がなければ運用できな

い。「ワシントンは今や戦争の直接の当事者だ」と原口一博氏(2024年 8 月31日)

<https://youtu.be/Lu-A2GlyL7Q>



<https://www.youtube.com/live/Lu-A2GlyL7Q>